



13 頁 立 止

ネット使い共同仕入れ

群馬、福島、茨城の花き市場3社と協議会を設立

群馬、福島、茨城の花き市場3社は8日、インターネットを通じて共同仕入れや相互取引を行う協議会(北関東コンソーシアム)を設立すると発表した。ネットを活用して物流や決済の課題を解決し、個々の市場の商品力を高める。年間200億円の取り扱い規模を目指す。農林水産省の補助事業「小ブロードチェー

確立事業」を活用。システムはパーソナル情報システム(東京都港区、片桐良行社長、03・5440・2911)が開発した。

★ 15 頁

ネット使い共同仕入れ

群馬、福島、茨城の花き市場3社と協議会を設立

群馬、福島、茨城の花き市場3社は8日、インターネットを通じて共同仕入れや相互取引、共同

販売を行う協議会(北関東コンソーシアム)を設立したと発表した。ネットを活用することで物流や決済の課題を解決し、個々の市場の商品力を高める。農林水産省の補助事業「小ブロードチェー

確立事業」を活用。システムはパーソナル情報システム(東京都港区、片桐良行社長、03・5440・2911)が開発した。

北関東コンソーシアムのメンバーは群馬県中央園芸(高崎市)、福島県花き(福島市)、茨城県水戸中央花き市場(水戸市)の3社。会長には群馬県中央園芸の相馬正一社長が就き、事務局も同社内に置く。コンソーシアムを通じて共同仕入れなどは10月に開始する。共同仕入れによる花きの集荷には埼玉県にある既存の荷受所を使って委託方式で対処する。生産者に対しては3社が相互保証を行うことで信用力を高める。

として運用する。